（３）建物表題部変更登記

【共有者・連件申請】

【概　要】

○ 本章は、法務省提供の申請書作成支援ソフトを使って、建物表題部変更登記の申請情報を作成します。

○ 建物表題登記の申請情報作成と同様に「オンライン申請」フォルダ内に建物表題部変更登記の申請情報を格納するフォルダを作成します。（１．申請情報作成の準備を参照）

○ 申請書作成支援ソフトを起動して、申請情報を格納するフォルダを指定し、申請情報の作成に入ります。（２．申請情報の作成を参照）

○ 本章は、共有者の場合の入力方法及び前述の土地合筆登記と連件で申請する方法です。

【持分の記載について】

建物表題部変更登記については、申請書に持分の記載は必要有りませんが、共有の場合の例示を前回配布したオンライン申請マニュアルにおいて「建物表題登記」の事例を示すことができませんでしたので、本章で事例を示しましたので、ご理解下さい。

追録３　建物表題部変更登記（入力方法・共有者・連件申請）

（１）紙の申請書の以下の内容を入力していきます。これは前述の土地合筆登記と連件で登記します。

登　記　申　請　書

登記の目的　　建　物　　表題部変更　　登　記

添付書類　　代理権限証書　　所有権証明書　　建　物　図　面
各　階　平　面　図

平成２１年　８　月２４日　申　請　　名古屋地方法務局

申請人　　Ａ市Ｂ町○丁目　１２３番地４　　持分　２分の１　　中　部　太　郎

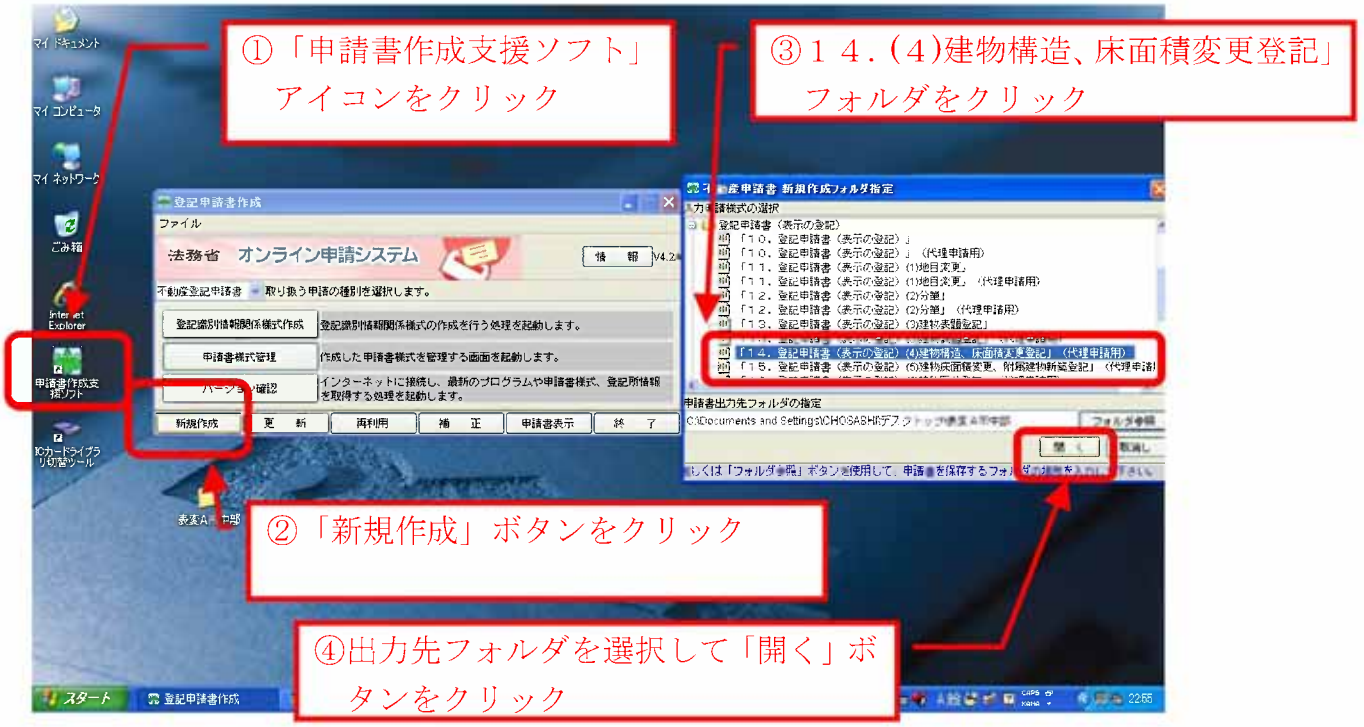
Ａ市Ｂ町○丁目　１２３番地４　　持分　２分の１　　中　部　花　子

代理人　　名古屋市西区新道１丁目２番２５号　　調　査　士　太　郎
TEL　０５２－５８６－１２００

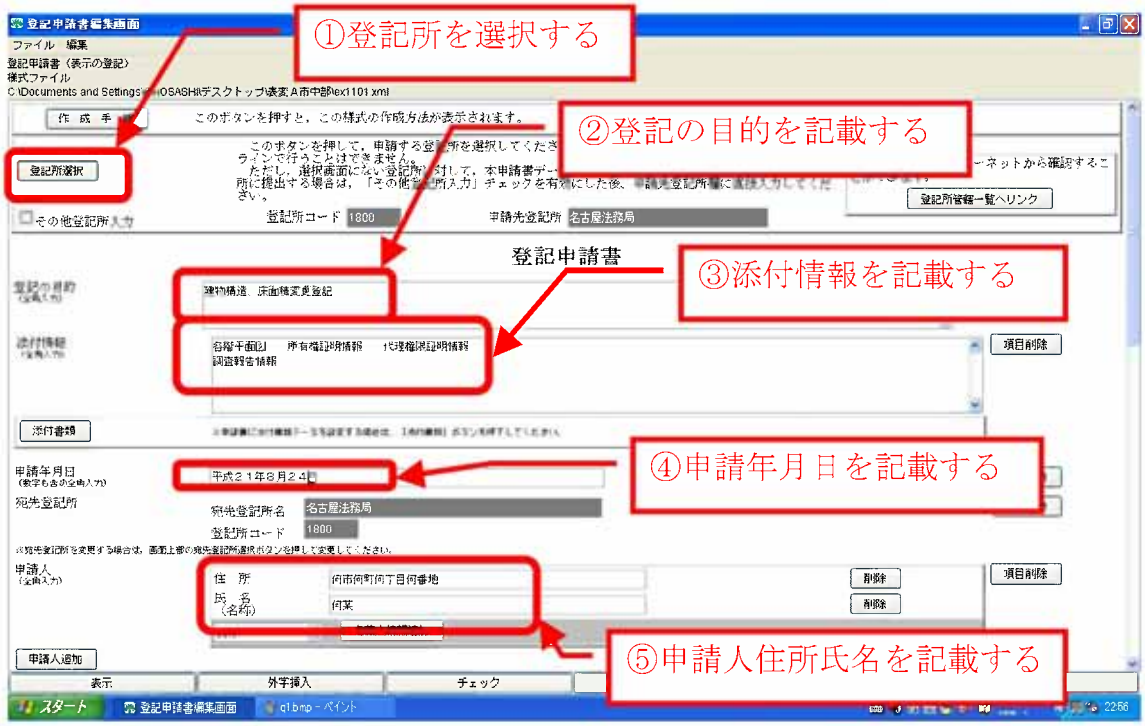
不動産番号					
建物の表示	所在	Ａ市Ｂ町○丁目　１２３番地４、１２３番地５			
		（変更後） Ａ市Ｂ町○丁目　１２３番地５、１２３番地４			平成２年５月５日 増築により変更
	家屋番号	１２３　番　４	１２３　番　５	変　更	
	主たる建物又は附属建物	①種類	②構造	③床面積 ㎡	登記原因及びその日付
		居　宅	木造 かわらぶき ２階建	１階　１２５　６１ ２階　７９　３３	
				１階　１５９　１８ ２階　１０１　８５	③平成２年５月５日増築
	符１	物　置	木造 かわらぶき 平家建	１９　８３	

土地家屋調査士　　調査士　太　郎　　職印

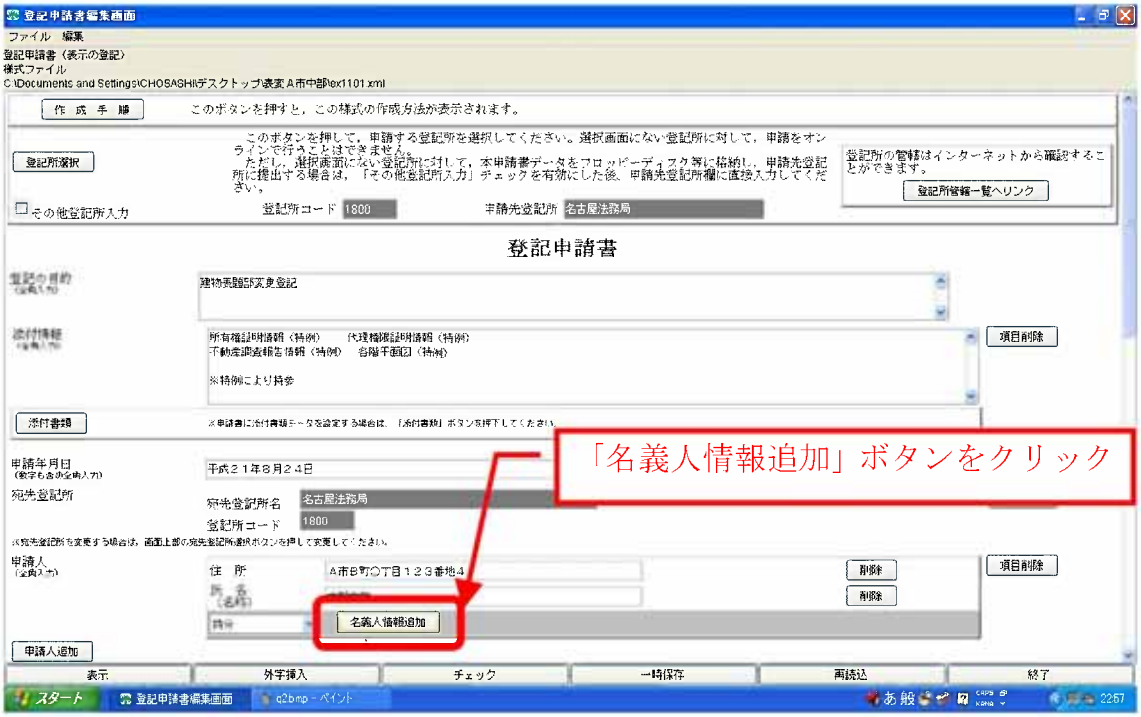
（２）申請書作成支援ソフトをクリック→申請システムの「新規作成」→新規作成フォルダの指定で「登記申請書（表示の登記)」→「１４．(４)建物構造、床面積変更登記」→出力先フォルダを選択して「開く」をクリックします。



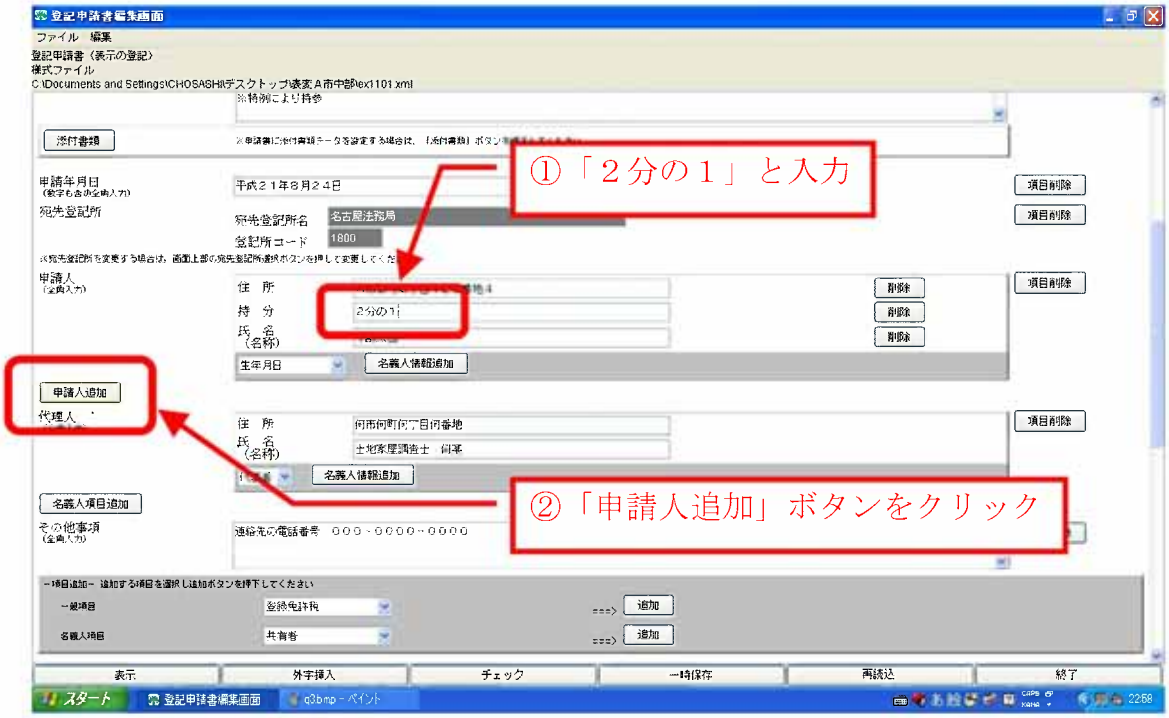
（３）構造変更はありませんので、登記の目的、登記所選択、添付情報、申請年月日、申請人住所氏名を加筆修正・入力します。



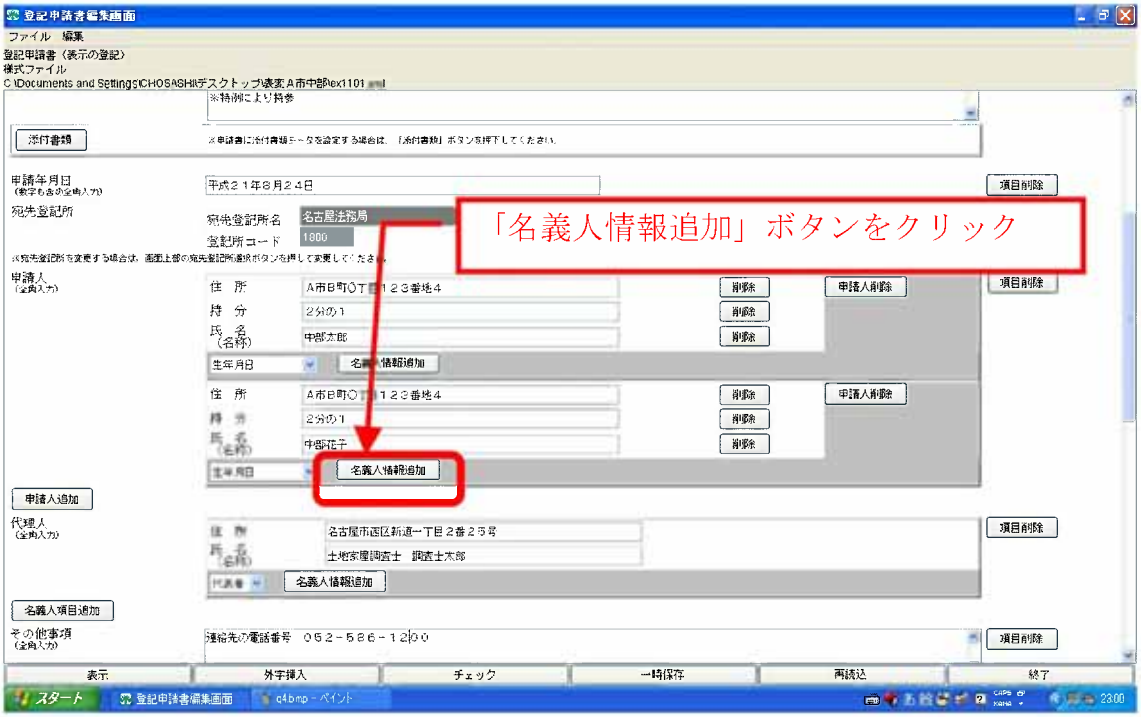
（４）申請人は共有ですので、１人目の住所氏名を入力した後、「持分」と表示されているところの右にある「名義人情報追加」ボタンをクリックします。



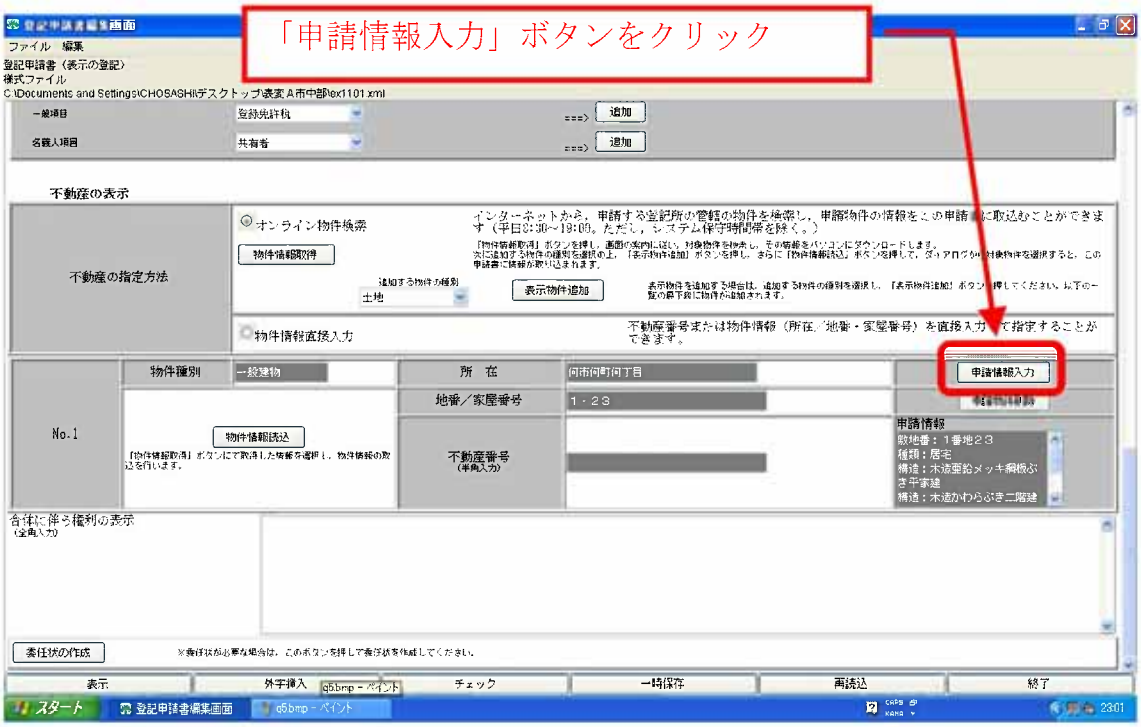
（５）「持分」の欄が追加されましたので「２分の１」と入力。その下左側にある「申請人追加」ボタンをクリックします。



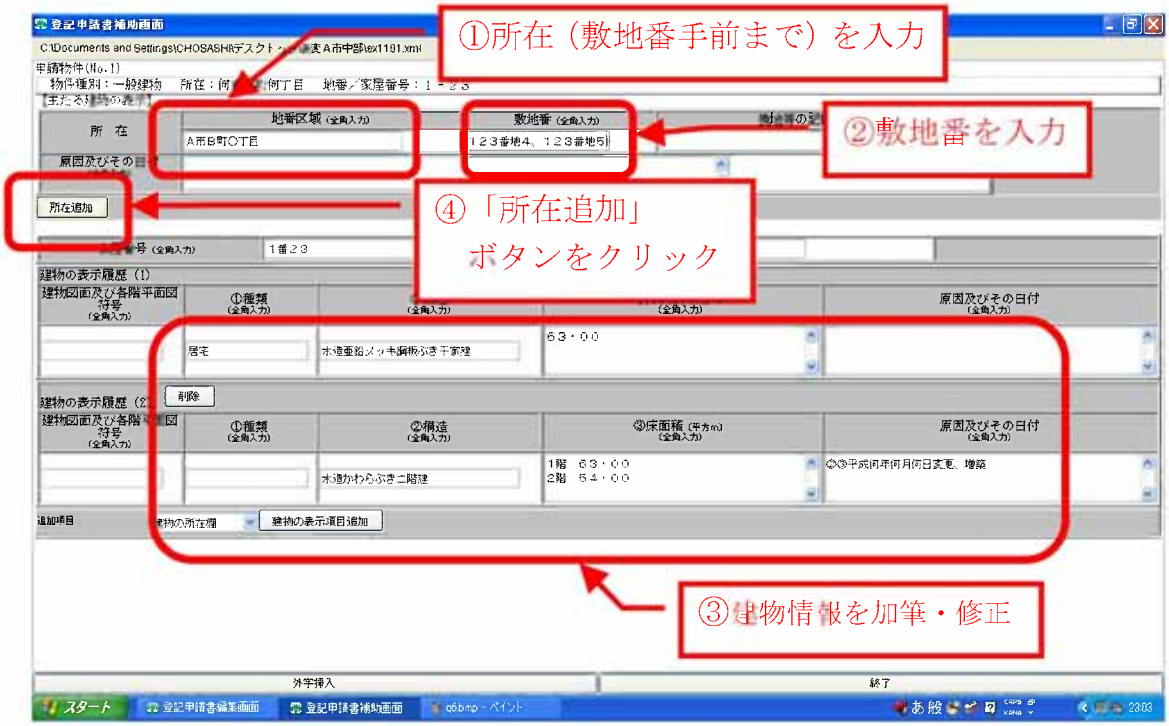
（６）２人目の申請人入力画面が出たら「持分」と出ているところの右の「名義人情報追加」ボタンをクリックして住所・持分・氏名・調査士情報・その他必要事項欄に電話番号を入力して下へスクロールします。



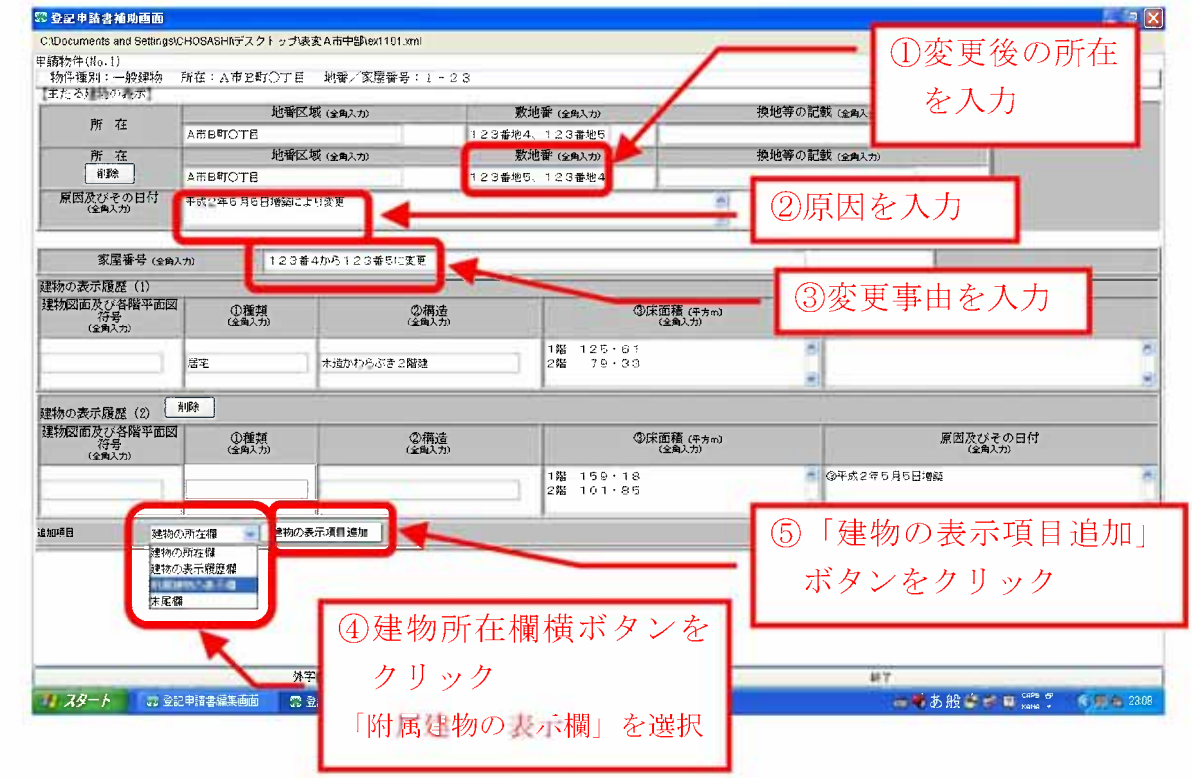
（７）すでに見本のデータが入っていますので、「申請情報入力」ボタンをクリックします。



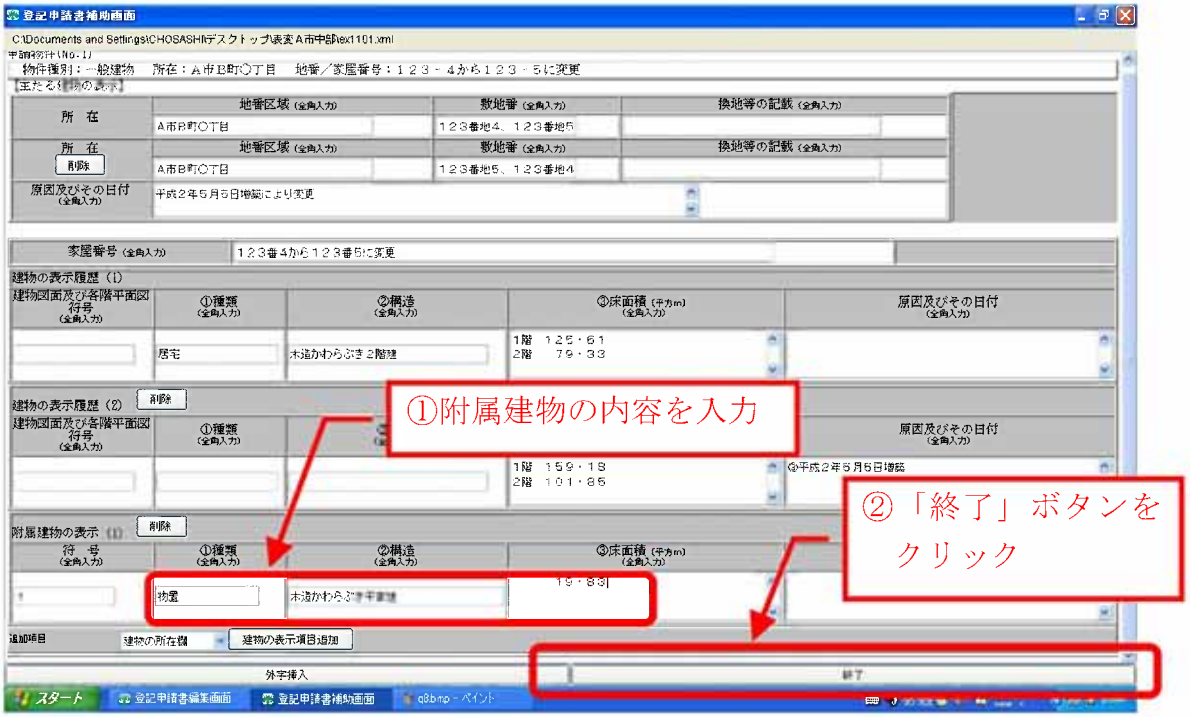
（８）すでに入力されているものを加筆修正・入力していきます。所在は敷地番が別の囲みになっていますので注意してください。そして「所在追加」ボタンをクリックします。



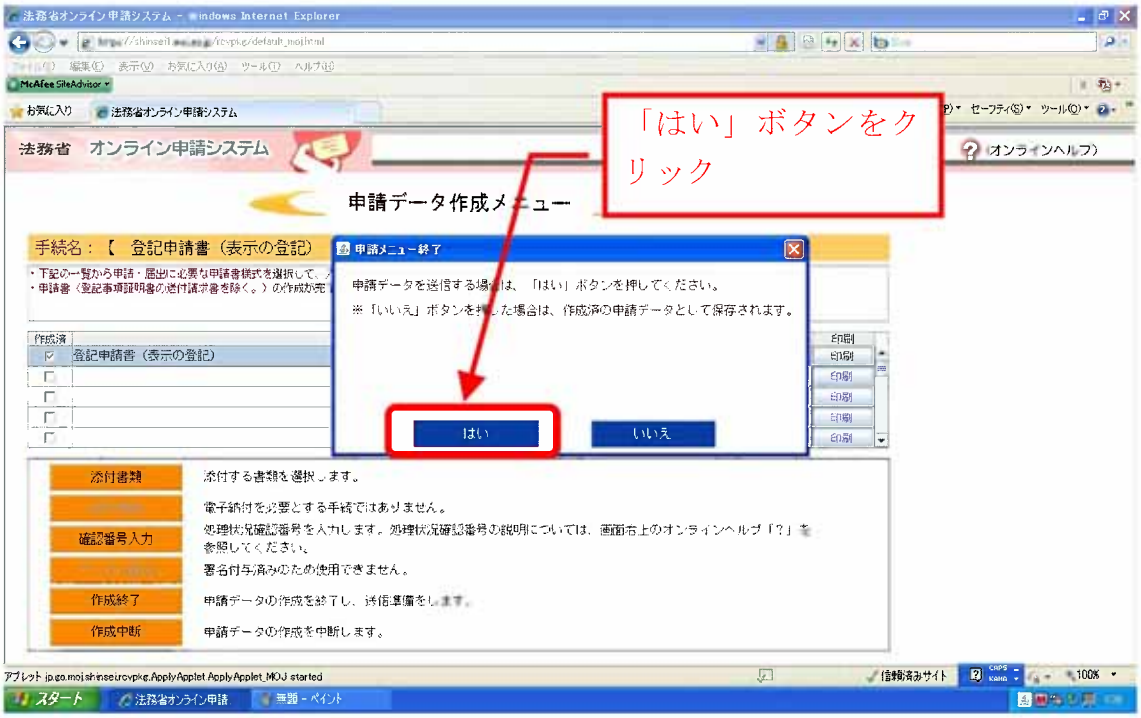
（９）新しく追加された所在に変更後の所在を入力し、原因及びその日付欄に原因を入力します。そして建物の所在欄横ボタンをクリックし「附属建物の表示欄」を選択し、その横の「建物の表示項目追加」ボタンをクリックします。



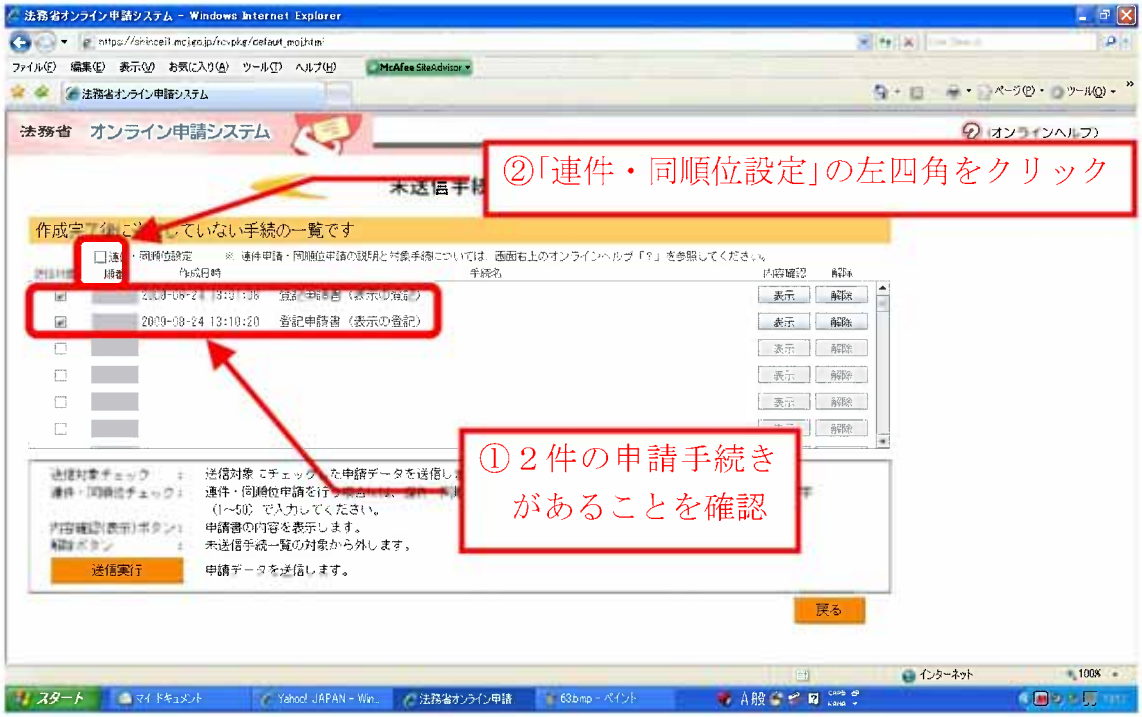
（１０）附属建物の内容を入力して「終了」ボタンをクリックします。



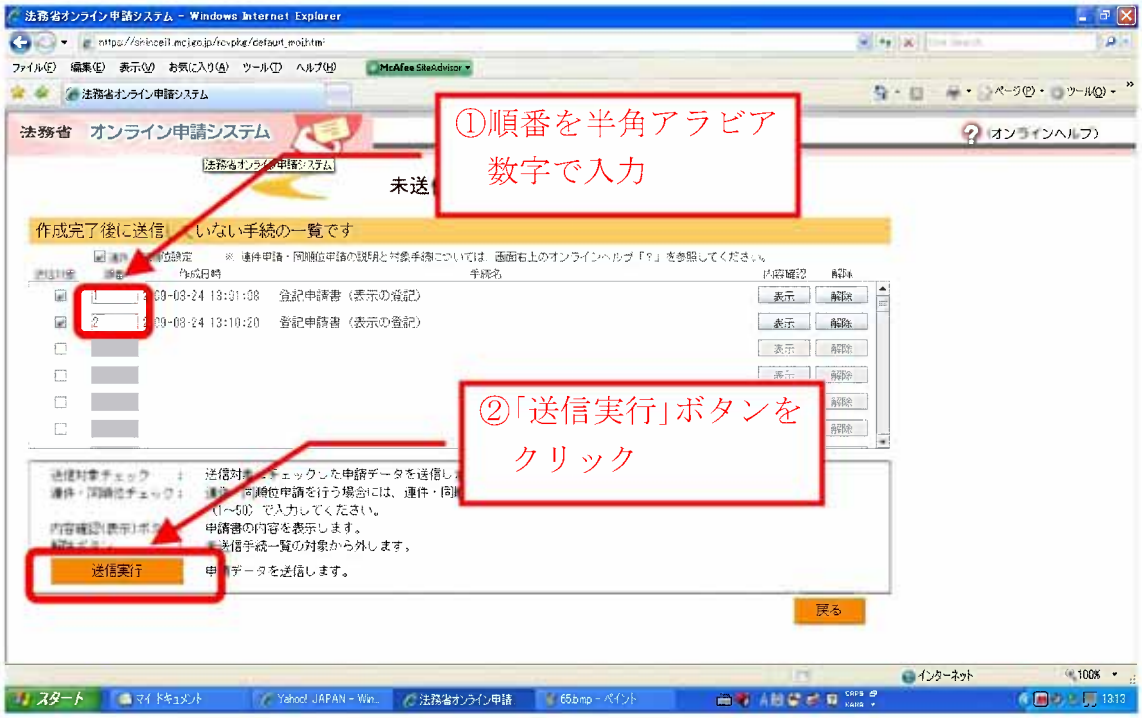
（１１）以降は特例方式によるオンライン申請マニュアルｐ３６（３３）～ｐ５３（２７）を参照してください。そしてここでは連件の２件目なので「はい」ボタンをクリックします。



（１２）未送信一覧画面になります。２件の申請手続きがあることを確認して、「連件・同順位設定」の左四角をクリックしてチェックマークを入れます。



（１３）すると今まで灰色だった順番のところが白く入力できるようになりますので、順番を半角アラビア数字で入力して「送信実行」ボタンをクリックします。



（１４）申請意思確認画面になり、連件申請の順位が付いていることを確認して「申請確定」ボタンをクリックしてください。後は特例方式によるオンライン申請マニュアルｐ５４（３０）以降に同じです。

